

## 東部新都心計画

東部新都心(HAT神戸)計画は、「神戸市復興計画」においてシンボルプロジェクトのひとつに位置づけられています。

# HAT KOBE



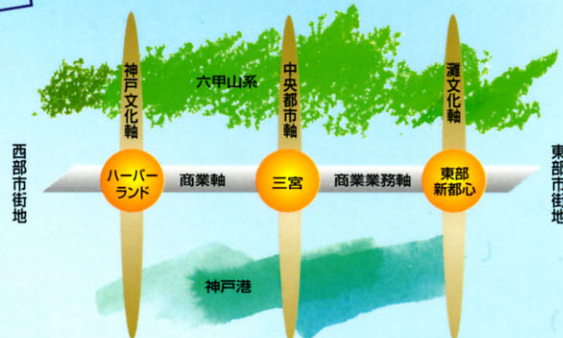
## 東部新都心計画の位置づけ

神戸市中央区東部および灘区西部の臨海部における大規模工場の遊休化などに伴う土地利用転換を図る総合的な整備。

震災により甚大な被害を受けた市街地の住宅や産業等の各種都市機能の受け皿となる市街地復興の先導的役割。

三宮、ハーバーランドと一体となった都心の構成。

大阪湾臨海地域開発整備法による大阪湾ベイエリア開発の拠点。



## 「HAT神戸」

東部新都心の愛称は、事業着手に併せて公募を行い、1,800通を超える応募のなかから、「HAT神戸」に決定しました。

「HAT」は「Happy Active Town」の頭文字を組み合わせたものです。

摩耶山の南、ウォーターフロントに開ける当地区が、文字通り、ハッと変貌し、だれもが幸福で、活気あふれる街となるように願いを込めて命名しました。

# 水と緑にあふれた安全で安心な街

多彩な生活を展開できる魅力的な都市空間、水と緑にあふれた美しい街なみ。  
HAT神戸は、住み、働き、集い、憩う、安全で快適な機能を併せもつ街です。

阪神・淡路大震災の教訓をふまえ、防災拠点を形成するとともに、  
次の4つの視点で、新しいコミュニティと文化を育む新都心のまちづくりを進めています。

## 安全

すべての人々が安心して  
安全な生活ができる  
災害に強いまちづくり

## 環境

すべての人々が  
快適な生活ができる  
環境にやさしい  
魅力あるまちづくり

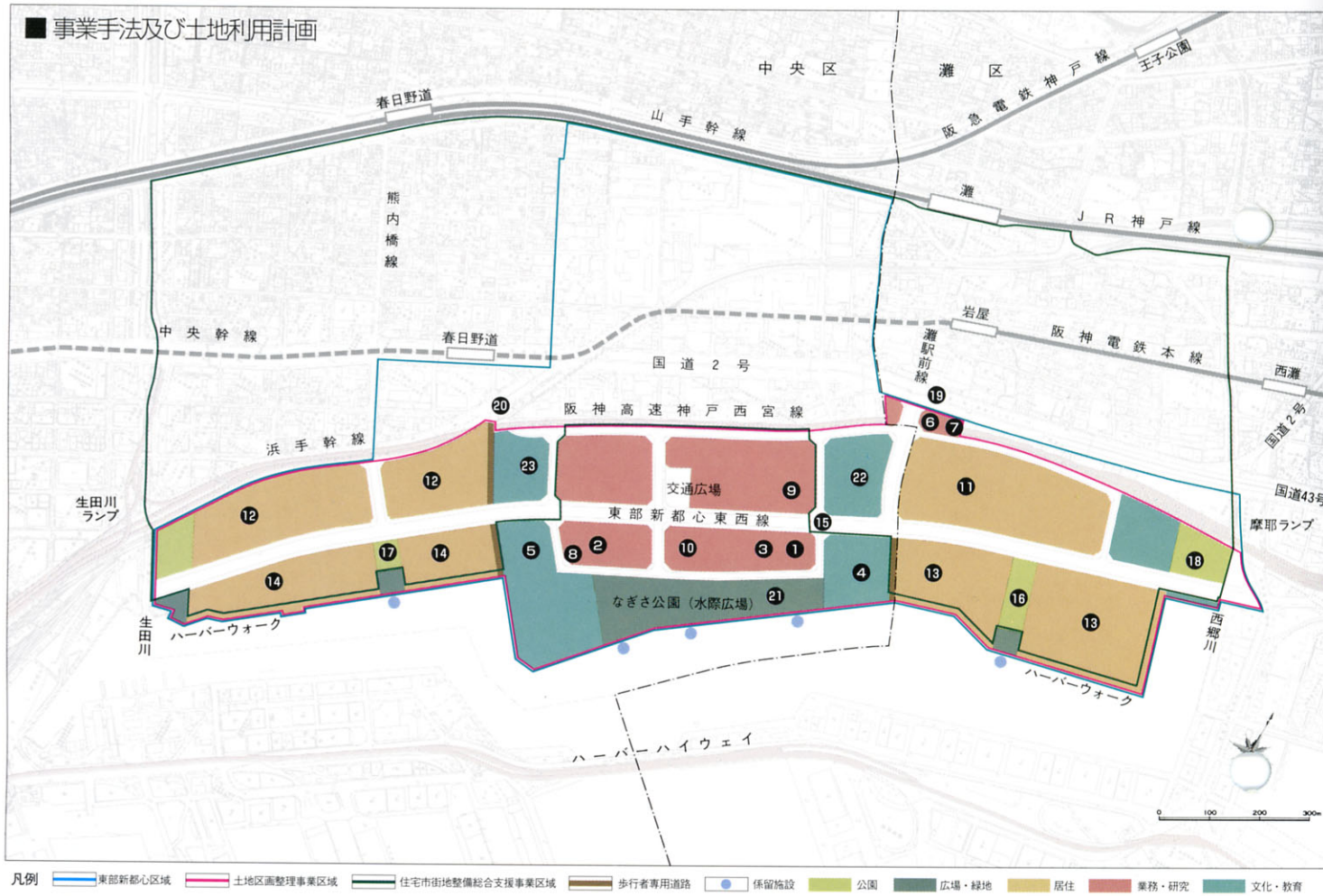
## 福祉

すべての人々が健康で  
心豊かな生活ができる  
人にやさしい  
福祉のまちづくり

## 活力

すべての人々が  
いきいきとした  
生活ができる  
活力のあるまちづくり

### 事業手法及び土地利用計画



## 業務・研究施設

**1. IHDセンタービル**  
世界で2番目のWHO直轄研究所であるWHO神戸センター等が入居。

### 2. 神戸防災合同庁舎



神戸海洋気象台等が入居、防災拠点としての機能を確保する。

### 3. 国際協力事業団 (JICA) 兵庫国際ナショナルセンター



青年海外協力隊の派遣事業など、JICAの国際交流事業の拠点として利用。平成13年末オープン予定。

### その他の業務・研究施設

- 6. 石光商事本社ビル
- 7. エコステーション
- 8. 日赤兵庫支部・血液センター
- 9. 神戸製鋼所新本社ビル

### 4. 芸術の館 (仮称)



広さは西日本最大級の県立新美術館。平成14年春開館予定。

### 5. 日赤新病院・災害医療センター (仮称)



平成15年度開院予定。  
日赤新病院 310床  
災害医療センター 30床

### 10. 阪神・淡路大震災メモリアルセンター



阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承する。  
平成14年春オープン予定。



居住施設

11.HAT神戸・灘の浜



神戸市、都市公団、兵庫県による復興住宅（賃貸）で合計1886戸。

12.HAT神戸・脇の浜



神戸市、都市公団、兵庫県による復興住宅（賃貸）で合計1656戸。

13.摩耶シーサイドプレイス



14.神戸海岸通ハーバーフラッツ



基盤整備

15.東部新都心東西線



HAT神戸の中央部分を東西に貫くメインストリート。

16.摩耶海岸通公園



C・C・BOX  
(電線共同溝)



地区内の電線類を地中に。景観に配慮するとともに耐震性が高い。

17.脇浜海岸通公園



18.西郷川河口公園



19.はつなぎさ歩道橋



国道2号を横断するエレベータの整備された歩道橋。

21.なぎさ公園(水際広場)・ハーバーウォーク



海に面する約4.6haの親水空間。ここは災害時における物資の輸送路の確保等、防災拠点機能をあわせ持つ。また、海沿いを約2.5kmにわたって続くハーバーウォークは、なぎさ公園へも導いてくれる幅員10mの遊歩道。

文化・教育施設

22.渚中学校



23.なぎさ小学校



災害に備え、避難場所となる広場を各所に配置。さらに、視界を遮る壁面を減らすなど、安心して暮らせる開放的な雰囲気を作成しています。



歩道のマウンドや屋上、駐車場など、緑化を積極的に推進。小鳥や昆虫が自然に集まる。四季の変化に富む街づくりを進めています。



歩道にベンチを設けたり、デッキ等にスロープを設けるなど、バリアフリーを徹底。素材にも配慮し、人の目に馴染む、優しい景観を形成しています。



コミュニティモールや広場など、住民が自然に集い、ふれあえる空間づくりに配慮。また、パブリックアートを充実し、にぎやかな雰囲気をつくり出しています。



## HAT神戸の概要

地区面積:約120ha  
 居住人口:約 30,000人(全体約10,000戸)  
 従業人口:約 40,000人  
 利用人口:約150,000人

## 土地区画整理事業

HAT神戸全体(約120ha)のうち、概ね阪神高速道路以南の臨海部地区(約75ha)については、土地区画整理事業により、緊急かつ大量の住宅供給や「WHO神戸センター」をはじめとする都市機能の導入を図る道路等の基盤整備を進めています。

### 事業概要

**事業名称** 神戸国際港都建設事業  
 東部新都心地区土地区画整理事業  
**施行者** 神戸市  
 (業務は都市基盤整備公団に委託)  
**施行面積** 約74.7ha  
**施行期間** 平成7～15年度  
**事業費** 約560億円

### 主な公共施設

- 道路** 東部新都心東西線[幅員40m]  
 その他道路[幅員13～32m]  
 歩行者専用道路[幅員10m]
- 公園・広場** 水際広場[約4.6ha]  
 公園 [4ヶ所 約2.8ha]  
 緑地 [4ヶ所 約0.9ha]
- その他** 交通広場[約4,000m<sup>2</sup>]  
 ハーバーウォーク(プロムナード)  
 係留施設

### 関連事業等

内陸部や周辺の密集市街地も含めた約168haの範囲で「住宅市街地整備総合支援事業」を導入し、良質な市街地住宅の建設や公園等を整備し、良好な住環境整備を進めています。また「港湾整備事業」「港

湾環境整備事業」等を導入し、市民に開かれたウォーターフロント空間となる水際広場やハーバーウォーク等の公共施設を整備します。

### 土地利用計画

	種別	地積(ha)	割合(%)	備考
公共用地	道路	15.4	20.6	
	公園・広場等	8.7	11.7	緑地、河川を含む
	小計	24.1	32.3	
宅地	業務・研究	11.1	14.9	WHO神戸センター等
	文化・教育	11.2	15.0	小学校2校・中学校1校他
	居住	28.3	37.8	約7,000戸、約20,000人
	小計	50.6	67.7	
	合計	74.7	100	



### 経緯

- 平成5年9月 神戸市東部臨海部土地利用計画策定委員会より報告
- 平成7年1月 阪神・淡路大震災
- 平成7年3月 住宅市街地総合整備事業の整備計画の大臣承認
- 平成7年6月 神戸市復興計画の策定 東部新都心計画のシンボルプロジェクトとしての位置づけ
- 平成7年8月 神戸港港湾計画の一部変更
- 平成7年10月 第4次神戸市基本計画の策定
- 平成7年12月 土地区画整理事業の都市計画決定
- 平成8年2月 用途地域等の都市計画変更 地区計画の都市計画決定  
土地区画整理事業の事業計画決定
- 平成8年6月 着工記念式開催、地区愛称「HAT神戸」の決定
- 平成8年7月 第1回土地区画整理審議会開催
- 平成8年9月 土地区画整理事業の事業計画変更
- 平成8年11月 第1回仮換地指定
- 平成8年12月 神戸市大阪湾臨海地域整備計画の承認
- 平成10年4月 「HAT神戸」一部供用及び復興住宅第1次入居開始
- 平成12年11月 第2回事業計画変更

神戸市都市計画局計画部アーバンデザイン室  
 TEL078-322-5486  
 都市基盤整備公団 関西支社 市街地整備第一部  
 TEL078-362-8137

2001年7月 神戸市広報印刷物登録 平成13年度 第126号(B-1類)



この冊子は、再生紙を使用しています。

